

特集

七尾×無名塾

市民と無名塾がともにつくりあげたドラマがここにある

旧中島町が無名塾主宰仲代達矢氏とつながりがあり、

「演劇の町」を掲げて町おこしを行っていたことは多くの市民が知るところ。

しかし、どのようなきっかけでこの「演劇の町」構想がスタートしたのか、

そして現在に至るのかを、どれだけの市民が理解しているのだろうか。

今年、第5回能登演劇堂ロングラン公演 無名塾「ロミオとジュリエット」が開催されることを機に、

終演までのシリーズ特集として、皆さんとともにこの地で演劇が生まれてから

現在までの歴史や演劇が根付いた理由を振り返ってみたい。

そして、地方の小さなまちに、日本に誇れるOnly Oneの演劇文化があること、

その意味と意義を改めて考えてみたい。